

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[52]歳、 勤続年数[32]年、 現場経験年数[31] 年、 階級[司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[36]歳、 勤続年数[17]年、 現場経験年数[16]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[28]歳、 勤続年数[8]年、 現場経験年数[7]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	D 年齢 48 歳 勤続 22 年 現場経験 21 年 階級 消防司令補 消防隊長 E 年齢 23 歳 勤続 5 年 現場経験 4 年 階級 消防士 消防車 機関員

1.1. 事例発生 の 経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	E	部署位置の指示、活動内容指示	
経過 2	A	部署位置の指示、活動内容指示	
経過 3	E	事故車両の進行方向側に部署	
経過 4	B	事故車両の後方に部署	
経過 5	A , E	救急隊の支援活動を行う	
経過 6	A , B , C	路上において応急処置を実施	
経過 7	B , C	救急車に収容するため、傷病者を救急車バックドアに誘導し乗車させようとした。	
経過 8		路側帯を通り抜けしようとした大型トラックが救急車に接触し、救急車が左右に大きく揺れた。	
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

- ## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

はい：一般車両を通行させようとする警察官との調整が無かったため、救急隊員は路側帯を車両が通行することを予期していなかった。
